

乳がんを考える

高知大学医学部 乳腺腫瘍 外科学講座

広告

企画 / (株)プランニング
制作 / 092-983-7771

【乳がんとは】

乳がんは乳房の乳腺細胞に発生する悪性腫瘍で、日本人女性がかかるがんの第1位で現在も増加しています。女性の約9人に1人が発症し、特に40～70歳代に多く見られます。まれに男性にも発症します。

【原因と予防法】

乳がんの発症には様々な因子が影響しています。糖尿病、喫煙、飲酒、乳がん家系などが代表的な危険因子ですが、それらを予防しても乳がんの発症を十分に抑えることはできません。重要なことは早期発見であり、早期発見することで治療の選択肢が広がり、治療の効果も高まります。

早期発見には「プレストアウェアネス(乳房を意識する生活習慣)」が大切です。①普段の乳房の状態を知る、②乳房の変化に注意する、③変化に気づいたら医療機関を受診する、④40歳以上は2年に1回検診を受ける、を実践しましょう。

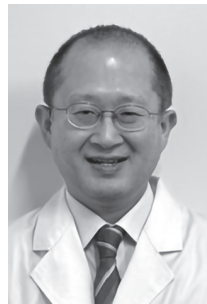
セルフチェックのポイントは、しこりの有無、乳頭の陥没や赤い分泌物の有無、乳房の皮膚のただれなどです。最も大事なことは、症状がなくても定期的に乳がん検診を受けることです。

【最先端の治療方法】

乳がんは大きく3つのタイプ(サブタイプ)に分類され、それにより治療方針や有効な薬剤が異なります。具体的には女性ホルモン陽性タイプ、HER2遺伝子陽性タイプ、いずれも陰性のトリプルネガティブタイプです。最近ではさらに細分化されています。加えて、進行度(ステージ)も評価して治療方針が決定されます。

乳がんの治療は、手術、薬物療法、放射線治療を組み合わせて行う集学的治療が基本です。手術は、乳房を温存する乳房部分切除と全切除があります。全切除の場合、再建手術を保険診療で受けられます。

手術はリンパ節摘出の省略など低侵襲化が進み、薬物療法においては新規の薬剤が次々に開発され、患者さんに応じた個別化医療が進んでいます。乳がん治療は、臨床試験等の科学的データに基づいた最も有効とされる治療、つまり標準治療を基本に患者さんの意志を尊重ながら行われます。



増田 隆明 教授

乳腺外科・外科・内科(乳がん検診・甲状腺がん検診)



医療法人 乳和会

やまかわ乳腺クリニック

院長 山川 卓

高知市若草町 15 番 45 号 ☎ 088-844-3301

医療法人・産婦会

田村産婦人科



新型 4 次元超音波導入

高知市鷹匠町 1-1-10 TEL 088-823-1110



クリニック
グリーンハウス

院長 木村 哲夫

〒780-0901 高知県高知市上町 1 丁目 7-1
TEL 088-871-1711 FAX 088-871-2525



高知医療生活協同組合

高知生協病院

〒780-0963 高知市口細山 206-9
TEL 088-840-0123 FAX 088-840-0409
<https://www.kochi-hco-op.or.jp/>